



日本・ Bangladesh が官民一体となって開発を進める「 Bangladesh 経済特区 (BSEZ) 」プロジェクト。JETRO は日本企業の皆様の BSEZ への進出をサポートするため、BSEZ に関する最新の情報をお届けします。

本号のトピックス

- ハシナ首相来日、戦略的パートナーシップに格上げ
- 投資サミット開催、日系企業11社とのビジネスMoUを締結
- ALSOKによる日本品質の警備サービス (BSEZアップデート)
- ハシナ首相訪日関連のリリース等

➤ ハシナ首相来日、戦略的パートナーシップに格上げ

Bangladesh のシェイク・ハシナ首相が4月25日から28日の期間、公式実務訪問賓客として訪日した。ハシナ氏の首相としての訪日は6回目で、前回の2019年5月以来、約4年ぶりの訪日となった。日本での滞在期間中は、皇居・御所で天皇陛下と面会するとともに、岸田首相との首脳会談及びワーキングディナーを実施した。また、「 Bangladesh 貿易・投資サミット」にも出席し、スピーチを行った。

～「包括的パートナーシップ」から「戦略的パートナーシップ」へ

首脳会談をふまえ、両国の首脳は二国間関係を従来の「包括的パートナーシップ」から「戦略的パートナーシップ」に格上げする旨の共同声明を発表した。従来までの関係性においては経済発展に向けたドナーとレシピエントという位置づけの側面が強かったのに対し、今回の共同声明には安全保障をはじめとしたより広範な分野での二国間の協力が宣言されている点は重要なポイントといえる。

また、これまでの日本と Bangladesh というシンプルな二国間のみの文脈から、日本政府の外交戦略「自由で開かれたインド太平洋 (FOIP) 」の中での Bangladesh の位置づけが重要視されている点が新しい要素だ。具体的には、岸田首相から、今年3月に FOIP の新たなプランを発表したことを説明した上で、その際に発表された「産業バリューチェーン構想」はベンガル湾地域全体の連結性向上を目指すものであり、「ベンガル湾産業成長地帯 (BIG-B) 」構想の下での協力をインド北東部の開発と有機的に連結させていくことで、相乗効果を生み出していきたい旨述べられた。



～岸田首相からは投資環境改善や産業高度化に向けた取組を要請

経済・経済協力に関しては、岸田首相から、引き続き Bangladesh の発展を支援していく旨を述べるとともに、同国が更なる投資を呼び込むための投資環境改善や産業高度化に向けた取組をハシナ首相に要請した。ハシナ首相からは、デジタル化等の分野で両国の協力を深めていくことへの期待が述べられた。両首脳は、4月に第1回会合が開催された「あり得べき日・ Bangladesh 経済連携協定 (EPA) に関する共同研究」の進捗を歓迎し、二国間経済関係を強化していくことで一致した。

～合計8つの政府間での協定・協力合意文書・協力覚書を交換

今回開催された日 Bangladesh 首脳会談に際して、以下のとおり、合計8つの政府間での協定・協力合意文書・協力覚書が交換された。

1. 日本国政府と Bangladesh 人民共和国政府との間の税関相互支援協定
2. 日本国政府農林水産省と Bangladesh 人民共和国政府農業省との間の食料・農業分野における協力合意文書
3. 日本国外務省と Bangladesh 人民共和国郵政通信・情報技術省情報通信局との間のサイバーセキュリティ含む情報通信技術に関する協力覚書
4. 日本国政府経済産業省と Bangladesh 人民共和国政府商業省との間の産業高度化パートナーシップに関する協力覚書
5. 日本国防衛省と Bangladesh 人民共和国政府首相府軍務局との間の防衛協力・交流覚書
6. 日本国国土交通省と Bangladesh 道路交通橋梁省との間の都市鉄道分野に関する協力覚書
7. 日本国国土交通省と Bangladesh 工業省との間のシップ・リサイクル分野に関する協力覚書
8. 日本国特許庁と Bangladesh 人民共和国特許意匠商標局との間の知的財産に関する協力覚書

➤ 投資サミット開催、日系企業11社とのビジネスMoUを締結

ハシナ首相の訪日に際し、JETROは4月27日に「Bangladesh 貿易・投資サミット」をウェスティンホテル東京で Bangladesh 証券取引委員会（BSEC）、Bangladesh 投資開発庁（BIDA）、日本 Bangladesh 経済委員会と共催した。本サミットには、一般参加、Bangladesh 政府、大使館関係者ら計580人の出席者があり、Bangladesh への注目度が高いことがあらためて認識された。

プログラムにおいては、日バ両国の関係者があいさつを行い、両国の政治・経済における今後の連携について協力していくことが表明された。サミット内で行われたMoU（覚書）交換式においては、日系企業



および団体11社と Bangladesh のパートナーのビジネスMoU締結が発表され、BSEZへの日系企業の入居企業第1号となったライオンなどが登壇し、会場で紹介を受けた。

本式典において、ハシナ首相はあいさつの中で、日本企業と Bangladesh 企業の協働に関する全面的なバックアップを約束するとともに、2026年までに同国が後発開発途上国を卒業する計画に触れ、今回MoUを締結した11社の成功が経済成長のカギになるとして、あいさつを終えた。

#	日本企業・組織	Bangladesh 企業・組織	タイトル
1	日本商工会議所	Bangladesh 商工会議所連盟（FBCCI）	Bangladesh 商工会議所連盟と日本商工会議所との協力覚書
2	ライオン	Bangladesh 経済特区（BSEZ）	Bangladesh 経済特区・ライオンカロール社 土地引渡契約
3	伊藤忠・関西電力	AKH	アノワラガス火力IPPプロジェクト
4	丸紅	Asian Entech Power Corporation Limited.	太陽光発電事業への共同投資・開発に係る覚書
5	住友商事	Parker Bangladesh Ltd.	大型太陽光発電プロジェクトの共同開発MOU
6	JERA	サミット	覚書
7	メディナ	Aichi Healthcare Group	日本式歯科技工所設立に関する覚書
8	Pipeline	Euro Vigil	サイバーセキュリティ・センターオブエクセレンス
9	丸紅	BJIT	丸紅が次世代事業としてITサービス会社BJITと資本業務提携
10	一般社団法人情報サービス産業協会	Bangladesh ソフトウェア情報サービス協会（BASIS）	（一社）情報サービス産業協会とBASISの相互協力に関する覚書
11	金融庁	Bangladesh 証券取引委員会（BSEC）	金融庁と Bangladesh SECとの金融技術協力に係る書簡交換

➤ ALSOKによる日本品質の警備サービス（BSEZアップデート） by BSEZ社

BSEZでは経済特区内の警備サービスをALSOK様（バ国法人：ALSOK Bangladesh Security Services Ltd.）に発注、昨年12月の操業開始以降、日々高品質の警備サービスを提供頂いております。今回、当地カントリーマネージャーの田辺様にお話を伺いました。

～ALSOK Bangladesh Security Services Ltd.の概要、海外での取組について教えてください

ALSOK田辺様：

ALSOKグループの海外現地法人は、タイ・ベトナム・中国・インドネシア・インド・ミャンマーに続き7カ国目となりますが、Bangladeshにおける警備員の質は他国と比較しても低水準であると実感しております。日本において50年以上の実績から培った業務経験に加え、海外におけるノウハウを活かし、Bangladeshでも日本同様のサービス（警備業務や防災業務、ファシリティマネジメント業務によるトータルソリューション）と品質をご提供出来るよう取り組んでおります。

工業団地・経済特区への警備サービスという観点では、ミャンマー・ティラワにおいて住友商事様が参画している経済特区にて、全体のセキュリティ管理に加え、約70%のご入居企業様に対し、200名以上の警備体制でALSOKの警備員を配置し、安全安心を提供させていただいております。

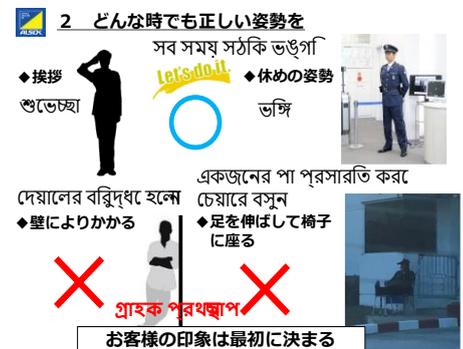
～Bangladesh経済特区での警備サービスの内容について教えてください。

ALSOK田辺様：

ALSOKではBSEZ様で勤務される従業員様および職場環境の安全と財産をお守りするため、約70名の警備員が24時間体制で警備業務をご提供しております。警備員を配置する前には、弊社日本人駐在員が日本式の教育・研修を実施してから配置し、配置後においても継続した教育・指導を実施しております。警備知識は基より日本語教育やボランティアで行っている清掃活動を通じ「ありがとうの心」を教え、人材育成に力を入れております。

現在BSEZ様に提供しているサービスは常駐警備が主となりますが、今後はカメラシステム・出入管理装置などの防犯防災商品の導入、全体警備計画のコンサルティング支援等を通じ、経済特区内のセキュリティ強化に貢献したく考えております。

また、BSEZにご入居される企業様の区画警備についても、各社様リスクを検討しプランニングした警備をご提案させていただきます。セキュリティ全般でお困りごとがございましたら、是非ご連絡頂戴できればと存じます。



研修資料例

【お問合せ先】

ALSOK Bangladesh Security Services Ltd.

Country Manager 田辺 剛史

TEL: +880 1300 123735



朝礼風景



BSEZ内の清掃活動



周辺地域の清掃活動

➤ ハシナ首相訪日関連のリリース等

- 日・ Bangladesh 首脳会談及びワーキング・ディナー（2023年4月26日、外務省発表）
https://www.mofa.go.jp/mofaj/sa/sw/bd/page4_005852.html
- 戦略的パートナーシップに関する日 Bangladesh 共同声明（2023年4月27日、和文仮訳）
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100496993.pdf>
- Bangladesh・ハシナ首相及び同国政府訪日団と二国間経済関係の強化に取り組みました（2023年4月27日、経済産業省発表）
<https://www.meti.go.jp/press/2023/04/20230427002/20230427002.html>
- ハシナ首相を招き Bangladesh 貿易・投資サミット開催（2023年5月9日、ジェトロビジネス短信）
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/05/6df9d4499e4c65ef.html>

Column ～日本人でも安心「山形ダッカ友好病院」～

途上国での駐在時の不安の一つである現地の医療水準。Bangladesh も高いとは言えず、設備の整った大病院でも医師の知識や診療システムに難のあるケースが多い。そんな中、日本の山形大学で医療を学んだエクラスル・ラーマン先生が院長を務めるのが「山形ダッカ友好病院」だ。同先生は日本語も堪能で、かつ定期的に日本に渡航し医療知識をアップデートされている信頼できる先生だ。さらに、日本人の小林看護師も常駐し、心配事があれば気軽に相談できる点もありがたい。

（筆者も足の怪我で絶賛入院中。大変お世話になっています。）



とある日の病院食（夕食）。日本人には日本食を提供してくれる。

【BSEZへの入居検討等に関するお問合せ先】

Bangladesh SEZ Ltd（担当：新川様）

E-mail: masashi.shinkawa@bangladeshsez.com, TEL: +880-18-1010-1134

【BSEZ通信、BSEZ通信メールマガジンに関するお問合せ先】

ジェトロ・ダッカ事務所（担当：薄木）

TEL: +880-2-55052239, E-mail: bad@jetro.go.jp



↑メルマガ登録

～ BSEZ通信メールマガジンご登録のお願い～

BSEZ通信メールマガジンの配信をご希望で、ご登録のお済でない方は、以下のリンクもしくは右上のQRコードよりご登録をお願いいたします。

👉 https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/index.htm?mag_id=3638

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。